

冬季休業中のタブレットの活用について

夏休みに引き続き、子供たちは冬休みにタブレット端末を持ち帰ります。端末の持ち帰りにあたり、安心安全で、有意義な学習のために、各家庭で確認いただきたいことをまとめました。

タブレット端末は、子供たちの学習のためにふじみ野市が貸与している大切なものです。文部科学省作成リーフレット「タブレットを使うときの5つのやくそく」を確認し、家庭での活用ルールについても話し合ってみてください。



楽しい冬休みになるように**お子様とともに有意義な使い方を考えて活用**をお願いします。

ふじみ野市PR大使「ふじみん」

持ち帰りの目的

① 苦手を克服し、得意を伸ばす学習のため

- ・eライブラリやすららドリルを活用すると、今の学年だけでなく、前学年の内容の復習や次学年の予習などができます。
- ・複数の教材の中から、個々の理解度に応じた内容の教材を選択して学ぶことができます。

② 年末年始の行事についての学びを探るため

- ・冬休みにはたくさんの地域行事などがあります。それぞれの行事の意味などをタブレット端末で調べることで、学びを深めることができます。

③ タブレットの基本操作に慣れ親しむため

- ・自分の考えを表現する力や文字を早く打つタイピング力、必要な情報を探す探索力などの、情報活用能力を高めます。



家庭での活用

① タブレット端末活用のルールを決める

- ・お子様と文部科学省作成リーフレット「タブレットを使うときの5つのやくそく」を確認し、家庭でのルール作りをお願いします。
- ・目の健康の観点からも、計画的な活用時間の設定をお願いします。

② 子供の学びを視る。聴く

- ・子供たちの学習に目を向けていただき、子供たちがタブレットで何をしているのか、一緒に見て話を聞いていただければと思います。
- ・プログラミングアプリのスクラッチなどを活用していると一見遊んでいるように見える場合がありますが、プログラミングで創作活動をしていますので、確認をお願いします。

③ 遊びには使わない

- ・遊び道具や暇つぶしのような使い方はしません。YouTubeなどはおうちの人と一緒に視ましょう。

保護者も一緒に

① 保護者の皆様も新しい学びの体験を

- ・一人1台のタブレットが整備され、今の学びは私たち大人が小・中学校で受けてきた学び方とは変化してきています。保護者の皆様も、この冬休みにぜひ、新しい学び（一人一人の理解度に応じた問題が出されるAIドリル学習やデジタル教科書など）を体験してみてください。

② 学習の記録の見直しを

- ・以前、授業で使うワークシートは紙のプリントで配られていました。現在はスクールタクトという協働的な学び用のツールを使い、タブレットに自分の考えなどを書き込むようになっています。この冬休み中に1、2学期に学習した内容を保護者の方と見直してみましよう。

お願い

① 暖房器具のそばに置かないでください

- ・高温になる場所にタブレットを放置すると壊れる場合があります。保管場所に気を付けましょう。
※エアコンやヒーターの温風が直接当たる場所やストーブの目の前など熱が当たる場所、こたつの中など高温になる場所には置きません。

② 故障や紛失等のトラブル対応

- ・タブレットに飲み物をこぼしたり高いところから落としたりなどの故障に気を付けましょう。
- ・タブレット端末が動かない、勝手に操作されている、いつもと異なる画面が出ているといった症状が出た場合は、速やかに電源を切り、3学期に担任の先生に報告してください。
- ・冬休み中の故障やトラブルについては、3学期に速やかに担任の先生に報告してください。